

静岡大学
情報基盤センター
准教授

長谷川孝博

クラウドコンピューティングのセキュリティ

● メリット

- リスクアセスメント結果の優位性:BCP,電力,コスト
- リスク移転:「技術の蓄積≒保守」からの解放
- センター業務の効率化と正確さの向上
- 新技術の新サービスの開発の余力獲得

● ポリシー

- サーバクラウド化の全学方針

● 対策

- プライベートとパブリックのクラウドレイヤー
- パブリッククラウドの一括調達と学内無償提供
- 全クラウドの時系列障害監視(クラウドコクピット)

静岡大学のクラウド情報基盤

- **導入状況(計画):**
 - **完了:基幹ネットワーク/主要サーバ群**
 - **計画:事務系主要システムを今夏移設(一部は完了)**
- **運用状況と体勢**
 - **問題無く稼働(一カ年経過)**
 - **客員教員の増員/外部保守要員の常駐/Crowd Cloud**
- **サービス内容・構成**
 - **1000台超のシンクライアントの稼働**
 - **170台の教職員向けパブリッククラウドサーバ**
- **効果・課題**
 - **学内の理解の急速な確立**
 - **セキュリティ意識の向上**
 - **スタッフの保守業務負担の軽減 > 新技術開発へ**
 - **話題性と外部評価**